



学生を支える力に。

Toyo University Volume 7 April 2023
Supporters News

サポーターズニュース

東洋大学
寄付報告書
第7号 2023年4月発行
www.toyo.ac.jp



東洋大学

皆さまからの温かいご支援を、
学生たちの活動に活用させていただきました。

理事長挨拶

東洋大学のために皆様から日頃よりいただいているご支援・ご協力に対し、深く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延、異常気象とロシアのウクライナ侵攻等による食料品価格やエネルギー価格の高騰、アメリカ・ヨーロッパ諸国をはじめとする先進国の金融政策の引締め波及等、ここ数年の世界はまさに混沌の中にあります。特にロシアによるウクライナ侵攻に関しては、ウクライナの若い留学生の支援のため、ウクライナ大使館と連携して留学生たちの受入れを始めることができました。そういった我々の取組は、皆様から、そして他大学からも非常に評価をいただけていると感じております。

厳しい世界の政治・経済情勢ではありますが、我々は学生たちの輝かしい未来に貢献すべく、キャンパスの整備のみならず学部の再編、教育内容の充実等、新たな時代の学びの提供に真摯に取り組んでいるところです。

今後とも東洋大学の取組にご理解をいただき、ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



学校法人東洋大学
理事長 安齋 隆

学長挨拶

平素より東洋大学の教育研究活動に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

特に昨年度から、ウクライナからの留学生のために、皆様から多大なご支援をいただいております。

引き続きコロナ禍ではありましたが、私たちはあらゆる改革を予定通りに進めております。2023年4月に赤羽台キャンパスに福祉社会デザイン学部と健康スポーツ科学部が誕生し、2024年度には、朝霞キャンパスに生命科学部と食環境科学部が移転してまいります。希望に満ち溢れた学び場となるように、私たちはより一層豊かな教育研究活動を展開していく所存です。

こうして発展できておりますのも、井上円了先生が与えてくださった建学の理念を心に、教職員が一体となり、どんなに困難な状況にあっても物事を深く考え、本質を見極める姿勢を持っているからに他なりません。そして同時に、皆様からのご支援は非常に心強いものとなっております。

今後とも、ぜひご指導ご支援のほど、よろしく願い申し上げます。



東洋大学
学長 矢口 悦子

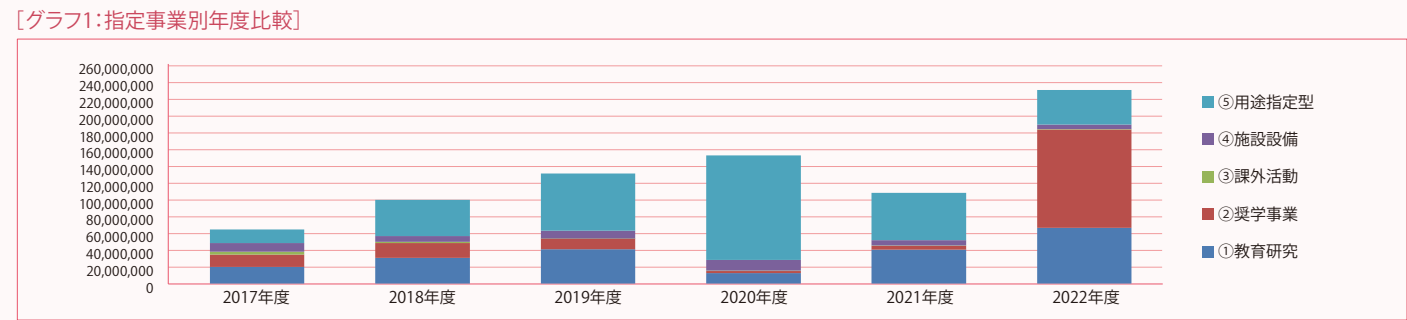
2022年度「教育・研究協力資金」募金報告

1. 過年度寄付金比較

[表1: 指定事業別] 金額は(円)、%は2021年度比較

事業	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	%
①教育研究	339	19,994,833	207	30,607,000	298	41,263,450	128	12,562,000	408	40,571,000	771	66,653,772	164.3
②奨学事業	67	14,729,667	54	17,847,555	69	12,385,555	90	2,469,000	150	4,619,000	597	117,832,000	2551.0
③課外活動	50	3,402,980	23	1,552,000	16	221,500	14	222,000	27	500,020	23	445,000	89.0
④施設設備	88	10,285,000	44	7,010,000	48	9,134,010	41	13,176,000	54	6,435,000	43	5,363,000	83.3
⑤用途指定型	135	16,107,582	291	43,169,021	1,309	68,803,184	1,881	125,045,543	2,134	56,244,675	926	41,276,192	73.4
合計	679	64,520,062	619	100,185,576	1,740	131,807,699	2,154	153,474,543	2,773	108,369,695	2,360	231,569,964	213.7

※件数: 1回の入金で複数の事業を指定した場合、件数も複数カウントとなる
 ※⑤用途指定型: 2017年度は「スポーツ奨励寄付金」「食環境科学研究科海外研修奨励寄付金」を算入。



[表2: 対象者別] 金額は(円)、%は2021年度比較

対象	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	%
卒業生	234	5,493,147	248	12,811,386	320	34,197,373	1,283	20,305,460	1,572	24,023,471	1,368	27,962,887	116.4
保証人(父母)	266	4,124,333	136	2,369,000	1,130	12,936,000	84	2,905,000	724	13,001,000	566	10,401,100	80.0
法人	114	28,801,082	109	30,740,000	119	50,001,766	111	46,420,000	100	42,244,532	89	67,260,215	159.2
団体	5	10,184,000	26	20,114,190	34	17,452,600	19	24,721,083	29	4,023,692	22	2,100,262	52.2
篤志家	13	1,710,000	17	10,262,000	37	212,960	33	915,000	62	850,000	104	7,018,500	825.7
役員・評議員	26	13,262,000	41	18,104,000	31	10,660,000	62	14,660,000	86	17,545,000	53	12,620,000	71.9
教職員	21	945,500	37	1,780,000	66	5,237,000	554	41,478,000	196	6,552,000	157	104,202,000	1590.4
在学生	-	-	5	4,005,000	3	1,110,000	8	2,070,000	4	130,000	1	5,000	3.8
合計	679	64,520,062	619	100,185,576	1,740	131,807,699	2,154	153,474,543	2,773	108,369,695	2,360	231,569,964	213.7

※件数: 1回の入金で複数の事業を指定した場合、件数も複数カウントとなる。
 ※団体: 校友会、浦水会、後援会、〇〇ゼミ有志などを計上。

2. 用途指定型詳細

[表3: 支援事業別] 金額は(円)、%は2021年度比較

支援事業	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	%
A.学部教育	20	1,525,000	70	7,102,190	958	13,799,800	54	1,369,306	542	8,680,535	290	5,513,500	63.5
B.大学院研究	9	420,000	22	3,037,000	39	638,800	29	745,000	49	1,890,000	26	450,610	23.8
C.外国人留学生	3	120,000	16	1,046,000	17	363,000	18	1,042,000	16	917,000	108	14,275,908	1556.8
D.ボランティア・社会貢献	4	37,000	10	3,280,000	23	336,000	18	156,000	8	142,000	10	360,000	253.5
E.学生生活	2	110,000	14	6,509,000	24	725,000	1,567	102,078,845	1,043	18,894,831	86	1,733,831	9.2
F.強化指定運動部	82	12,875,082	150	21,864,831	222	27,417,774	170	18,838,277	356	22,641,309	378	18,672,343	82.5
G.研究・プロジェクト	15	1,020,500	6	260,000	5	1,405,000	5	271,000	6	470,000	3	120,000	25.5
H.図書館の充実	-	-	3	70,000	6	23,811,310	8	69,560	6	550,000	3	30,000	5.5
I.公認団体	-	-	-	-	15	306,500	12	475,555	108	2,059,000	22	120,000	5.8
合計	135	16,107,582	291	43,169,021	1,309	68,803,184	1,881	125,045,543	2,134	56,244,675	926	41,276,192	73.4

※2017年度は「スポーツ奨励寄付金」「食環境科学研究科海外研修奨励寄付金」を算入。

[表4: A.学部教育] (円)

文	経済	経営	法	社会	国際	国際観光	情報連携	ライフデザイン	理工	総合情報	生命科	食環境科	合計金額
716,000	440,000	1,271,500	228,000	230,000	235,000	290,000	190,000	150,000	1,123,000	130,000	380,000	130,000	5,513,500

[表5: F.強化指定運動部] (円)

硬式野球部	陸上競技部 (男子長距離)	陸上競技部 (男子短距離)	陸上競技部 (女子長距離)	アイススケート部 (ホッケー)	アイススケート部 (スピード)	アイススケート部 (フィギュア)	レスリング部	空手道部	スキー部	合計金額
1,084,000	5,276,973	2,114,215	1,135,555	1,285,000	0	10,000	115,000	130,000	20,000	18,672,343

[表6: C-2.ウクライナ学生等支援対象別] (円)

対象	件数	金額
卒業生	37	980,000
保証人(父母)	6	106,000
法人	1	10,000,000
団体	2	45,792
篤志家	9	505,000
役員・評議員	9	1,360,000
教職員	29	1,243,000
合計	93	14,239,792

[表7: Team TOYO募金対象別] (円)

対象	件数	金額
卒業生	398	5,540,000
保証人(父母)	166	2,125,000
篤志家	22	310,000
役員・評議員	13	570,000
教職員	23	390,000
合計	622	8,935,000

ウクライナ学生等支援報告


2022年2月、本学では、軍事侵攻により日常生活が困難となったウクライナの大学生や研究員を受け入れ、学業・研究が継続できる環境を提供することを決定し、ウクライナ・キウにある、ボリス・グリンチェンコ記念キウ市立大学、タラス・シェフチェンコ記念・キウ国立大学、国立航空大学の3校と包括的学術交流協定並びに学生交換協定を締結いたしました。

これにより、大学生12名及び研究員(大使館からの推薦を含む)5名は、それぞれが希望する学部所属し、日本人学生や他の留学生とともに学業を続けることができました。

本学には、新型コロナウイルス感染症拡大時に「学びを止めない」という合言葉のもと、教職員が一丸となって困難を乗り越えてきた経験があります。日常を奪われたウクライナの若き学生たちの学業への道が閉ざされないように、志半ばで諦めることがないように、再び「学びを止めない」ことに踏み出しました。ウクライナの学生を迎え入れたことは、共に学ぶ本学の学生にも平和や政治を現実のものとして捉え考える学びの1年でもありました。ウクライナと良好な関係が無い国から来た学生もたくさん在学しています。この経験を、全て

の情報を貪欲に受け止め、自ら考え判断する準備としてほしい。共に学び、そして学び続けることを願っています。

2022年度に受け入れた留学生は本国の大学を卒業するために帰国し、2023年度は新たな留学生を迎えます。ウクライナの学生・研究員の受け入れに際しては、多くの卒業生、教職員、篤志家の皆様からご寄付を頂きました。皆様のご支援が無ければ継続できない取り組みです。ここに感謝の意を表させていただきます。引き続きのご支援をよろしく願っています。



学長 矢口悦子

ウクライナからの研究員：ペレフォズニク イリナさん



Q.どのような経緯で東洋大学にいらっしゃいましたか？

A.子供のころから日本に興味を持っていて、日本語を習い、将棋、茶道、剣道、弓道のコースにも参加していました。ロシアの侵略が始まり、ウクライナは安全でなくなりました。東洋大学がウクライナの研究員を受け入れることを知り応募して認められ、2022年6月5日に日本に到着しました。

方法や発展方法を研究し、ウクライナの戦後の経済発展に役立てたいと考えています。

Q.将来の希望は？

A.私は日本で勉強を続けたいです。日本で国際関係論の修士号を取得し将来は外交官になりたい。在日ウクライナ大使館で働き、ウクライナと日本の関係を発展させたい。日本に来てから、多くの人と交流し、美術館や公園、史跡などを訪れました。日本の美しい自然に畏敬の念を抱いています。日本が好きです。

来日にあたっては、東洋大学関係者の皆さんからたくさんの支援をいただいたと聞きました。とても感謝しています。ウクライナの学生にとって、皆さんからの温かい支援はとても重要なのです。心からありがとうございますと伝えたいです。

Q.研究テーマは？

A.私の研究テーマは「ビジネスをサポートするために伝統文化、料理、工芸を復活させる方法」です。日本には非常に発達した地域ビジネスがあります。この地域ビジネス管理



ウクライナからの留学生を応援します！ / 白山下商店会 会長 ファミリーマート 文京白山駅前店 オーナー 岡田 浩さん

東洋大学さんとは、社会学部の学生さんたちを中心に、地域のお祭りを一緒にやるなど長年のお付き合いがあります。そんな中、ウクライナから来ている学生さんたちがいることを知り、当商店会として少しでも力になりたいと思い、募金箱を設置することにしました。我々が想像していた以上に募金してくださる方が多かったのは印象的でした。国籍を問わず、未来ある学生さんたちが、白山の地から羽ばたいてくれたら嬉しく思います。

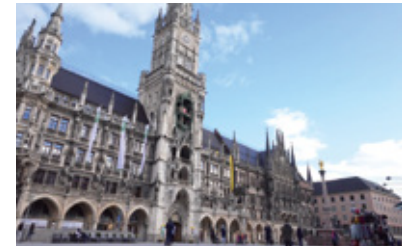


支援別報告

学部教育支援

用途指定型支援 A学部教育支援は、学部の海外研修・海外留学・課外講座・インターンシップ参加など、アクティブに活動する学生の負担軽減に充当させていただいています。2022年度は新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和に伴い、海外研修等も徐々に活動が再開いたしました。

学部	支援対象者	支援対象者数	充当額
文	海外文化研修(インド)参加者	26名(20,000円/人)	720,000円
	海外文化研修(ウズベキスタン)参加者	10名(20,000円/人)	
法	海外語学研修(ドイツ)参加者	6名(50,000円/人)	354,000円
	海外ゼミ合宿(韓国)参加者	9名(6,000円/人)	
社会	海外研修(アメリカ:シアトル)参加者	11名(50,000円/人)	550,000円
理工	海外研修(タイ)参加者	9名(20,000円/人)	180,000円
ライフデザイン	TOEIC受験生	20名(計40,000円)	198,915円
	資格講座受講者	51名(計105,900円)	
	海外留学(交換留学)参加者	2名(計53,015円)	



法学部海外語学研修(ドイツ)

図書館の充実

図書館の椅子を更新しました。

用途指定型支援 H図書館の充実 にいただいたご支援で、白山キャンパス図書館の閲覧席982脚を更新しました。設置スペースごとにデザインが異なる4種類の椅子は、落ち着いた色調で、長時間の勉強や読書にも座り心地が良いと好評です。

過年度繰越寄付額	2022年度寄付額	充当額	残額
24,500,870円	30,000円	23,980,000円	550,870円

なお、このたびの図書館の充実にあたっては、**相続遺産によるご寄付**も活用させていただきました。ご遺言で「亡くなった夫が東洋大学の卒業生でした。亡夫が特待生として過ごした大学への貢献が私の望みです。特に、図書館の設備や書籍の充実に役立ててほしい」と残されご寄付としていただきました。



遺贈というご支援 ~ 遺言による寄付や、相続した財産からの寄付があります ~

少しでもだれかの力になりたい、学生の活動を応援したい、そんな想いを未来につなげる残し方があります



A 男さん: 相続した財産からのご寄付

A 男さんのお母様が生前、研究していた分野の学会活動を通じて知り合った本学の教授からていねいに指導を受けたことをとても感謝していたことから、当該教授の所属する研究所の活動に役立てることを指定してご寄付をいただきました。

B 子さん: 遺言による寄付

B 子さんは、文学部英米文学科から大学院の博士前期課程、後期課程へと学ばれました。ご家族は無く、遺言状に「経済的修学困難者の学費に役立てるための奨学金に」と記載があり、遺言執行人の方から寄付のご連絡をいただきました。

C 江さん: 相続した財産からのご寄付

C 江さんのお父様が亡くなり「残されたものを父が喜ぶ使い方をしたいと考えていたところ、東洋大学に入学したことを一緒に喜んでくれた時の笑顔が浮かびました」と、ボランティア・社会貢献支援にご寄付をいただきました。

※遺贈パンフレットをご希望の方は、募金ホームページで閲覧いただくか、電話(03-3945-7498)にて冊子をご請求ください。



国際学部 グローバル・イノベーション学科 4年

松永 真弥さん

期間: 2022.8 ~ 2023.5.
留学先: ボストン大学(アメリカ合衆国)



私は今、ボストン大学に留学中です。

奨学金の存在を知ったのは入学してすぐの春学期でした。志願するには高いGPA(成績)と高い語学スコアの2つが求められます。1年時から、授業は無欠席、プレゼンテーションやディスカッションにも意欲的に参加し、得られるチャンスを逃さず挑戦し続けてきました。それなのに、新型コロナウイルスの影響ですべてが不透明になった時はショックで途方に迷ってしまいました。不安な中、少しずつ社会が動き出した時に見た留学指定校リストに「ボストン大学」という言葉を見つけ、調べていくうちに新しい希望が生まれました。

私には将来、リーダーとなって起業したいという夢があります。ボストン大学では、主にビジネス分野で、マーケティングや広告、オペレーションマネジメントを受講しています。この留学で得られる知識・生活経験・人脈は夢の実現への力となると信じています。

奨学金は、ボストン大学の授業料や教材費、寮費の補助となり、経済的な不安を減らし、最先端の教育を受けるチャンスを私に与えてくれました。一人の人間として、グローバルリーダーの卵として、必ず成長して帰ってきたいと考えています。

強化指定運動部支援

総合情報学部 総合情報学科 3年
陸上競技部(男子長距離部門)

梅崎 蓮さん



東洋大学に進学を決めたのは、伝統校であることと強い先輩がたくさんいたので自分も成長できるかなと考えたからです。

陸上競技部では寮生活をしていますが、運動能力を上げるための食事や弱点克服のための練習、苦手だった、人との会話など、すべてにおいて良い刺激を貰っています。自分の強みは粘り強く崩れない走り負けず嫌いなど。出雲、全日本、箱根の三大駅伝を全部狙っています。そう、区間賞も。欲張りですね。

—箱根駅伝では、1年生からメンバー入り7区を走り区間11位の走り。2年次は9区にエントリーされ、11位でたすきを受けると後半まで崩れない力強い走り順位を9位に押し上げアンカーへとたすきを繋ぎ、18年連続のシード権獲得に貢献しました。梅崎選手のタイム 01:08:36は東洋大学9区歴代記録のトップとして歴史に刻まれました。

将来は、マラソンにも挑戦したいと思っています。自分は短い距離よりも長い距離に向いているので。漠然とではありますが、この先も長く陸上と関わっていくのだと思っています。

いただいたご支援は、主に合宿費の補助やトレーニング機器の購入等に充てさせていただきます。自分たちが陸上を続けていられる原動力は、支え応援して下さる方々がいるから。2024箱根駅伝は記念すべき100回大会になります。皆様の応援に応えるために、強い東洋を取り戻すために、チーム一丸となって走り抜けます。これからも、応援よろしくお願いします!



Team TOYO募金報告書

つなぐ・つながる『チーム 東洋』

ご寄付の金額に合わせ、本学卒業生オーナー企業の商品から返礼品を選んでいただく Team TOYO 募金。2022年4月のスタートから1年がたち、たくさんのご支援と反響をいただいています。2023年度は新たに4社が加わり、ネットワークはさらに広がります。ご支援をよろしくお願いいたします。

ご利用者の声

大学にも企業にも貢献できて良かったと思う。

これからも返礼品の種類を増やして募金活動を活性化し、卒業生オーナーとの一層の結びつきができればと思います。

この返礼品制度はとてもいいと思います。全国に散らばった卒業生オーナー様たちのご活躍を願っています。

坂井商店
鯉節と削り器セット

鯉節ってこんなに美味しかったんだと感動しています。ちゃんと鯉の味がして、もはやおかずの主役になっています。ゆっくり削り器で削りスローライフを楽しんでいます。

これからもっと多くの卒業生から返礼品の品物が増えるかも…と想像すると、毎年の楽しみになりそうです!

二胡々亭
Aセット 生餃子10個、焼売5個



餃子・焼売ともボリュームがあって大満足です。

美峰酒類
クラフトジン歌川



ロックでもソーダ割でもジントニックにしても。唯一無二の味わい。

クリタ
こんにやく釜めし 2箱



作った釜めしをお握りにして昼食にいただいています。味が染みていて美味しい。

御菓蔵
越中富山の常備菓子



趣向を凝らしたパッケージに感動しました。いろいろな味を楽しみました。

上閑伊酒造
清酒イーハートブ



「ジョバンニ」は甘く「風の又三郎」は辛口。違いを楽しみました。

ルミエール
ヴィネガードリンク



12本入りとたくさん入っていて味もよく感激しました。

古今堂
濃厚生チーズケーキ 1592



とろける食感のチーズケーキ。濃厚で、とても美味しかった。

田淵製粉製麺
そうめん 120把



これまでに食べたそうめんの中でベストワン。抜群に美味しいそうめんでした。

サザコーヒーホールディングス
幕末維新セット



香り・コクともに素晴らしい☺️

返礼品ベスト5

1 東洋Tシャツ (東洋大学生活協同組合)



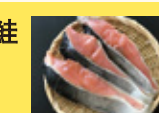
2 めい姫の十二単バウム (松幸農産)



2 東洋大学ウォッシュタオル (東洋大学グローバルサービス)



4 新巻きメジカ鮭切り身6切れ (山上佐藤水産)



5 みちこの有機ポン酢2本セット (阪東食品)



強化指定運動部報告

ラグビー部

監督 福永 昇三

全国大学ラグビーフットボール選手権大会初出場

2022年度シーズンは29年ぶりとなる1部リーグという新しい舞台でのシーズンとなりました。開幕戦では大会4連覇中の東海大学に競り勝つことができ、勢いそのまま創部64年目にして初の大学選手権へ出場することができました。

チームの成長は皆様方のご声援とご支援があつてのことです。心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。皆様からのご支援は、公式戦の試合に着用するジャージ、短パン、ソックス一式に使用させていただきました。

2022年度シーズンは、毎試合が激しく精神的にも肉体的にも、とてもタフなシーズンでありましたが、試合を重ねるごとに大きくなる温かいご声援が大きなパワーとなり、強者へ立ち向かう勇気となりました。近い将来日本一になることを信じて精進いたします。

今後とも東洋大学体育会ラグビー部を宜しく願い申し上げます。



アイススケート部(ホッケー部門)

監督 鈴木 貴人

関東大学アイスホッケーリーグで通算10度目の優勝

2022年度アイススケート部(ホッケー部門)は関東大学アイスホッケーリーグ戦を連覇し通算10度目の優勝を果たすことが出来ました。しかしインカレでは決勝で明治大学に延長戦の末敗戦し悔しい準優勝でシーズンを終えました。

国際大会においては、FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズへ弊部より14名の学生が選出され1983年以來のベスト4に貢献出来たことは素晴らしい経験となり、今後のチームへ良い影響を与えてくれると思います。

皆様からのご支援は、リンク代(練習費)に使用させていただきました。

2023年度は、春の選手権、秋の関東リーグ戦、そしてインカレの三冠を目指し頑張りますので引き続きご支援をよろしく願いたします。



サッカー部(女子)

監督 石津 遼太郎

第31回 全日本大学女子サッカー選手権大会優勝

いつもサッカー部(女子)を応援していただき、誠にありがとうございます。2022年度は、皆様のご支援のおかげで、全日本大学女子サッカー選手権優勝、関東大学女子サッカーリーグ1部優勝、関東女子サッカー選手権大会優勝と、悲願である全国制覇を成し遂げることができ、大きな成果を残すことができました。皆様からいただいたご支援は、遠征費(バス代)、ボール等に使用させていただきました。

2023年度は連覇に向けて、またチーム一丸で挑戦していきたいと思ひます。

引き続き、ご支援ご声援のほどよろしく願いたします。



ボクシング部

監督 三浦 数馬

2019年度以来2度目の日本一に返り咲く

2022年度は皆様のお陰で2019年度以来2度目の日本一に返り咲くことができました。

【団体】令和4年度関東大学リーグ戦:優勝/第76回全日本大学ボクシング王座決定戦:優勝(日本一)

【個人】2022全日本ボクシング選手権大会:女子フライ級優勝 岸本有彩(2年)

男子ミニマム級優勝 古藤昇大(1年)

第77回国民体育大会ボクシング競技:成年男子バンタム級優勝 政所 稜(奈良県、4年)

成年男子ウェルター級優勝 田中空(神奈川県、3年)

2023年度は連覇を目標に頑張ります。また、個人では日本代表選手を輩出し、世界で活躍できる選手を育成していきます。

皆様からいただいたご支援は、毎年3月に行われる沖縄合宿の費用として使用させていただきます。また、日本代表選手には海外遠征など強化費として使用させていただきますと考えております。これからも、応援よろしく願いたします。

